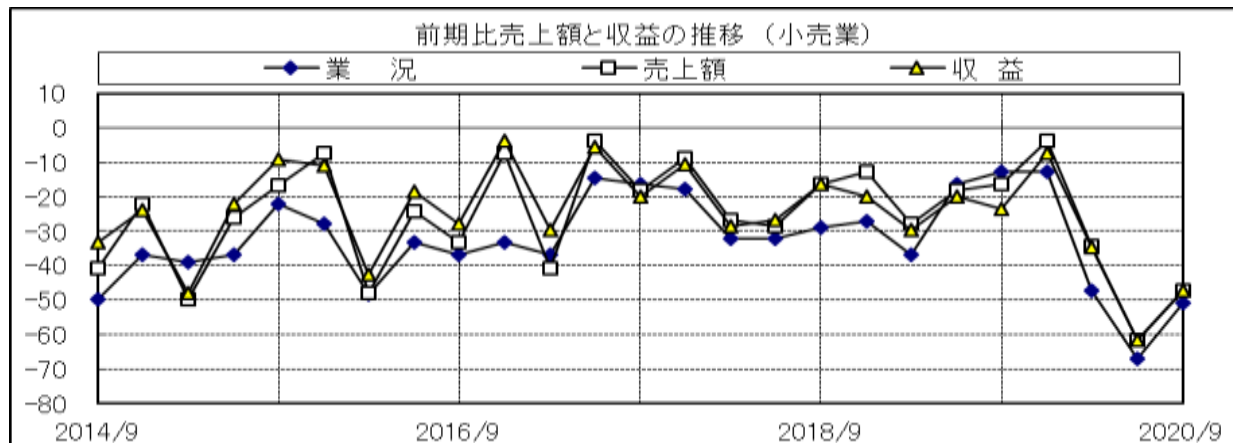


小 売 業 55 企 業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期 見 通 し
業 況	-47.3	-67.2	-50.9	-60.1
売上額	-34.5	-61.8	-47.3	-43.6
収 益	-34.6	-61.8	-47.3	-43.6

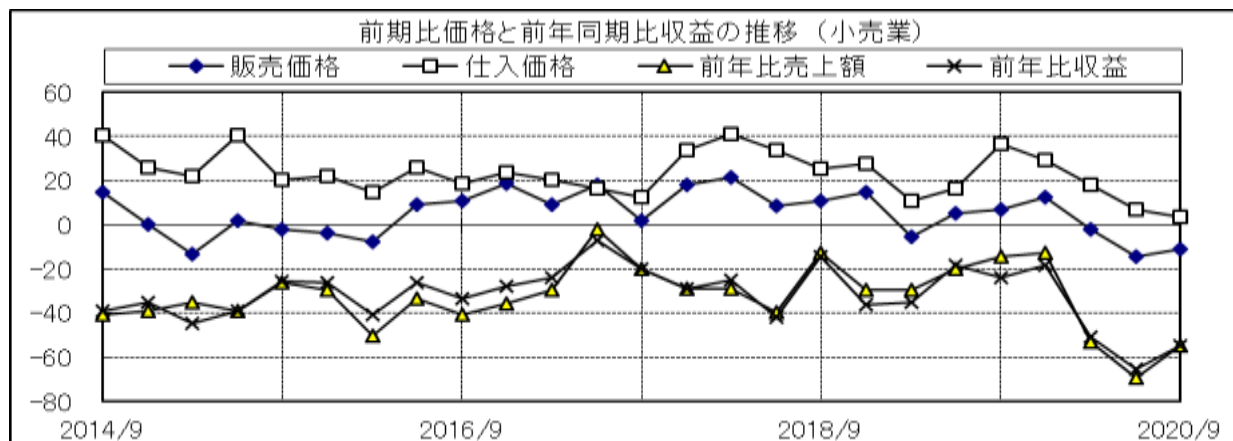
今期の業況判断 D.I. は△50.9 で、前期比 16.3 ポイント上昇した。前年(△12.7)比 38.2 ポイント下降した。地区別の D.I. は高い順に、様似・えりもが同率で最も高く、次に浦河、三石、静内と続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D.I. は△47.3 で、前期比 14.5 ポイント上昇。収益判断 D.I. は△47.3 で、前期比 14.5 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期 見 通 し
販売価格	-1.8	-14.5	-10.9	-3.6
仕入価格	18.1	7.2	3.6	10.9

販売価格判断 D.I. は△10.9 で前期比 3.6 ポイント上昇、前年(7.2)比 18.1 ポイント下降した。仕入価格判断 D.I. は 3.6 で前期比 3.6 ポイント下降、前年(36.4)比 32.8 ポイント下降した。業種別の販売価格は、衣料は横ばい、食料・家電が上昇。仕入価格は、食料が上昇、衣料・家電が下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期 見 通 し
残業時間	-10.9	-11.0	-10.9	-7.3
人手状況	-9.1	-16.4	-14.6	-14.5

残業時間判断 D.I. は△10.9 で、前期比 0.1 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合がやや増えた。

人手過不足判断 D.I. は△14.6 で、前期比 1.8 ポイント上昇し、人手不足感が弱まった。

□ 設備投資の動き

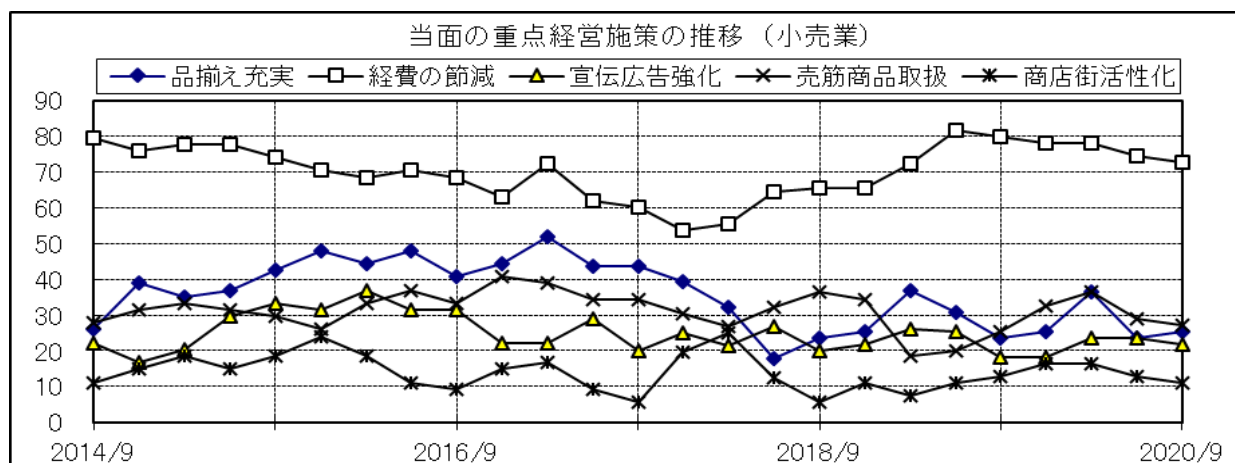
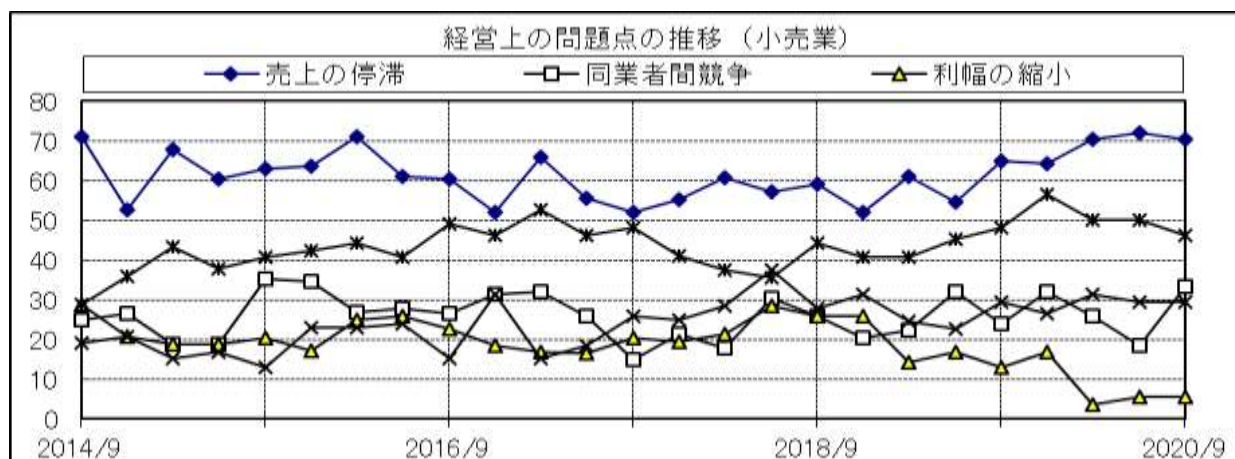
設備投資の充足感を示す D. I. は△16.3 で、前期(△20.0)比 3.7 ポイント上昇した。

設備実施企業割合は 7.3 で、前期(3.6)比 3.7 ポイント上昇した。設備投資は、前期 2 社に対し実施は 4 社の実施となった。来期の設備投資の予定は 4 社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が 70.4%と最も多く、次に「商圈人口減少」46.3%、「同業者競合」33.3%、「大型店競合」29.6%、「地場産業衰退」11.1%、「取引先減少」9.3%、「人手不足」・「値上げ要請」・「商店街集客力低下」が 7.4%、「利幅縮小」・「販売商品不足」が 5.6%、「商品陳腐化」・「駐車場確保難」・「天候不順」3.7%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が 72.7%と最も多く、次に「売れ筋商品取扱い」27.3%、「品揃え改善」25.2%、「宣伝広告強化」21.8%、「仕入先開拓」・「人材確保」が 12.7%、「商店街活性化」10.9%、「教育訓練強化」7.3%となった。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は△60.1 と、今期比 9.2 ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断 D. I. は△43.6 と、今期比 3.7 ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断 D. I. は△43.6 と、今期比 3.7 ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断 D. I. は△3.6 と、今期比 7.3 ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断 D. I. は 10.9 と、今期比 7.3 ポイントの上昇を見通している。

サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
業 況	-51.7	-63.3	-40.0	-43.3
売上額	-55.2	-59.9	-26.6	-30.0
収 益	-53.3	-56.6	-26.7	-30.0

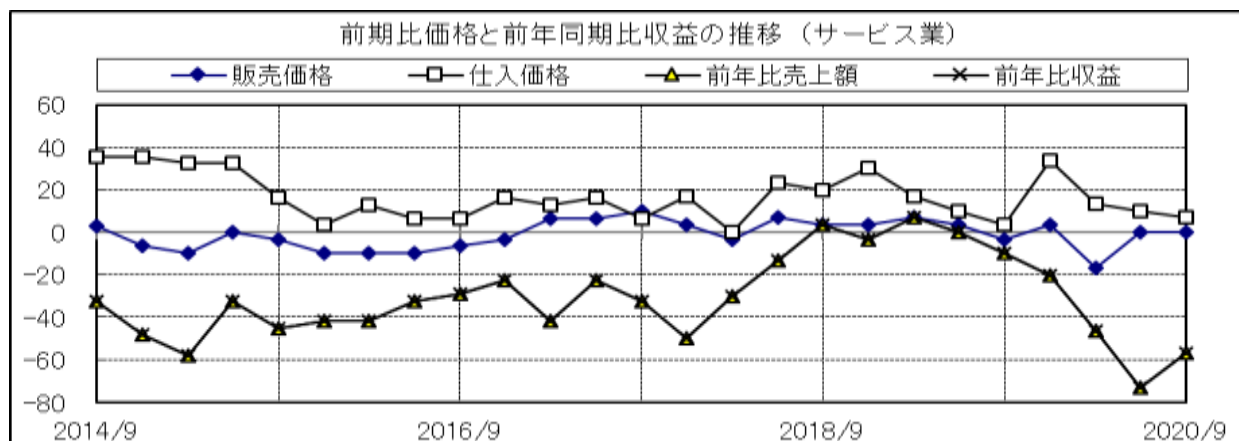
今期の業況判断 D. I. は△40.0 で、前期比 23.3 ポイント上昇、前年(△26.7)比 13.3 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、静内が最も高く、次に三石、様似と続き、浦河・えりも・広尾が同率で最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△26.6 で、前期比 33.3 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は△26.7 で、前期比 29.9 ポイント上昇した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
料金価格	-16.7	0.0	0.0	0.0
材料価格	13.3	10.0	6.7	10.0

料金価格判断 D. I. は 0.0 で前期と同水準となった、前年(△3.3)比 3.3 ポイント上昇した。材料価格判断 D. I. は 6.7 で、前期比 3.3 ポイント下降、前年(3.3)比 3.4 ポイント上昇した。業種別の、料金は、旅館、洗濯理美容は横ばい、自動車整備は下降。材料は、旅館は横ばい、洗濯理美容が下降、自動車整備は上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
残業時間	-3.3	-10.0	-13.4	-6.7
人手状況	-26.8	-13.3	-13.3	-13.3

残業時間判断 D. I. は△13.4 で、前期比 3.4 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△13.3 で、前期と同率となり、人手不足感に変化はなかった。

□ 設備投資の動き

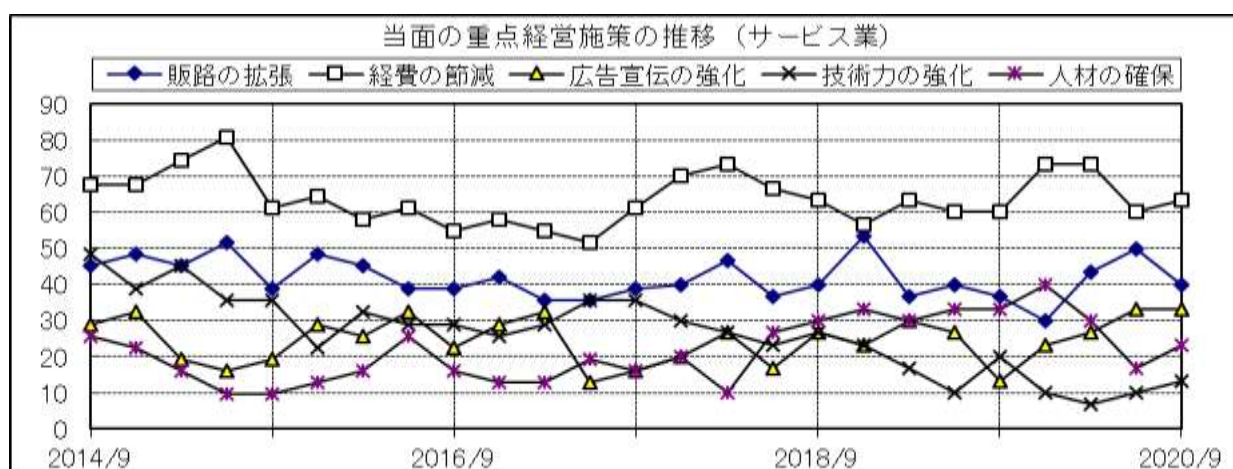
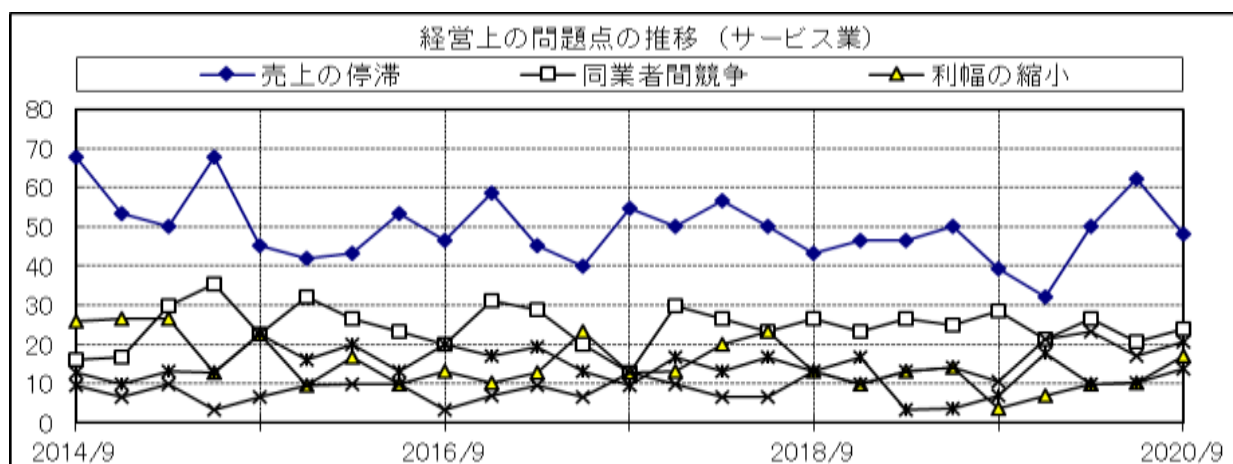
設備投資の充足感を示すD.I.は△6.7で、前期(△3.4)比3.3ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は13.3で、前期(10.0)比3.3ポイント上昇した。設備投資は、前期3社に対し、4社の実施となった。来期の設備投資は5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が48.3%と最も多く、次に「商圈人口減少」44.8%、「同業者競争」・「取引先減少」が24.1%、「人手不足」・「人件費増加」が20.7%、「利幅縮小」17.2%、「地場産業衰退」13.8%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が63.3%と最も多く、次に「販路拡大」40.0%、「宣伝広告強化」33.3%、「人材確保」23.3%、「技術力強化」13.3%、「店舗設備改善」・「労働条件改善」が10.0%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△43.3と、今期比3.3ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は△30.0と、今期比3.4ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は△30.0と、今期比3.3ポイントの下降を見通している。

予想料金価格判断D.I.は0.0と、今期と同水準を見通している。

予想材料価格判断D.I.は10.0と、今期比3.3ポイントの上昇を見通している。